

## 令和6年度 教育研究推進計画

1 研究主題 思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方  
～対話によって学びを深める授業づくりを通して～

### 2 主題設定の理由

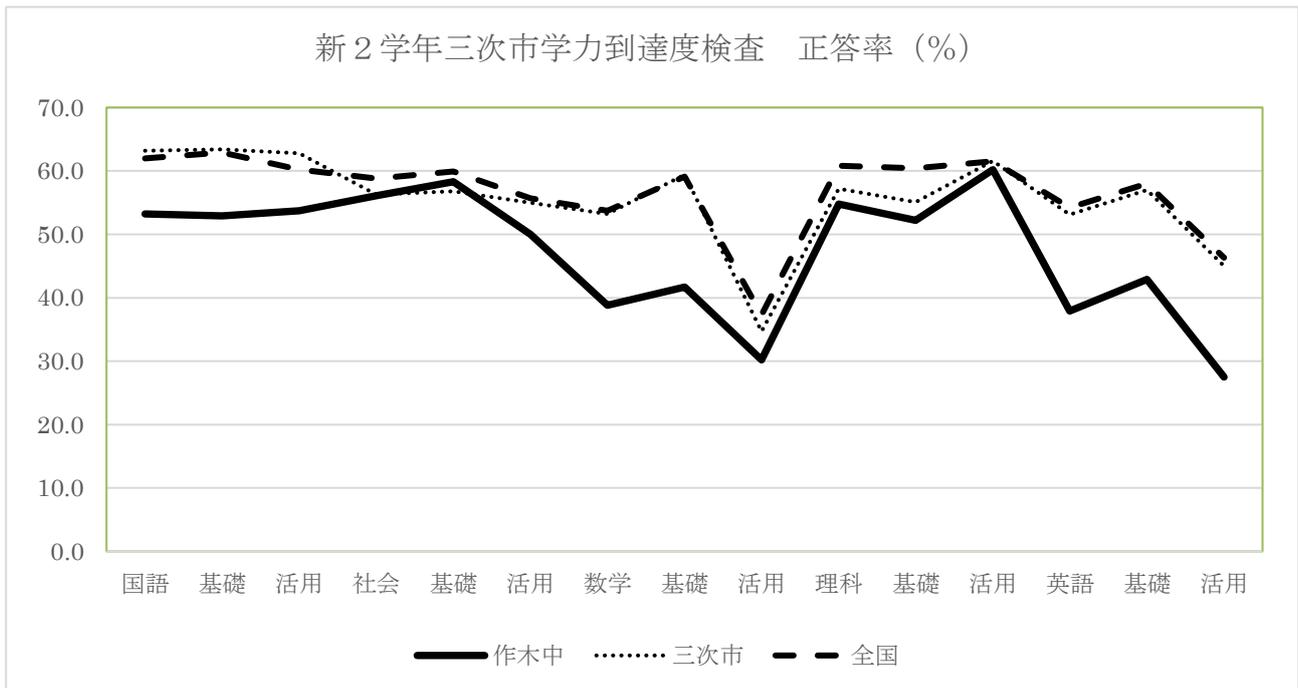
作木町は中国山地の山懐に抱かれ、「中国太郎」の名を持つ江の川や「日本の滝百選」に選ばれている常清滝など豊かな自然に恵まれている。この自然環境を生かして、作木町では稲作を始めとして、梨やリンゴの栽培など農業が盛んである。また、地域の伝統芸能である神楽の継承や地域資源の活用などによる地域の活性化が、地域住民によって積極的に取り組まれている。

本校生徒は温かい地域性のもと、温厚で素直な生徒が多く、学校生活の中でも学習や部活動にまじめに取り組んでいる。また、ほとんどの生徒が同一の保育所、小学校で育ってきているため、お互いの長所・短所をよく知り、家族的な仲間意識を持っている。

作木中学校区では、「作木中学校区授業モデル」にもとづき、「基礎・基本」の習得と「思考・表現」の充実を図るべく授業研究をすすめてきた。

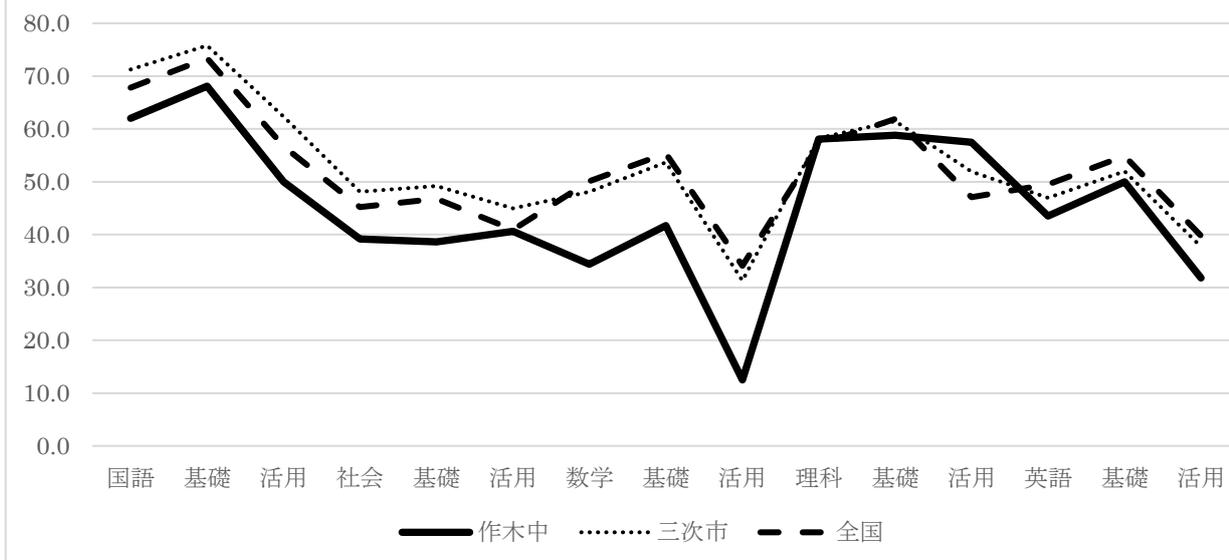
本校においては、昨年度、小中合同授業研究会を含む10回の授業研修を行い、「教科の見方・考え方」を働かせる授業づくりを通して、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方を探ってきた。また、自主学习ノートや学習計画表を持たせたり、定期的に学習相談を行ったりして家庭学習についての指導も行ってきた。

次は、昨年度末（令和6年1月）に実施した三次市学力到達度検査の平均正答率である。



	国語	国語基礎	国語活用	社会	社会基礎	社会活用	数学	数学基礎	数学活用	理科	理科基礎	理科活用	英語	英語基礎	英語活用
作木中	53.2	52.9	53.7	56.1	58.3	50.0	38.8	41.7	30.2	54.8	52.2	60.2	37.9	42.9	27.5
三次市	63.2	63.4	62.8	56.3	56.8	55.0	53.2	59.4	34.7	57.2	55.1	61.6	53.1	57.0	45.0
全国	62.0	62.9	60.2	58.8	59.9	55.7	53.7	59.1	37.3	60.8	60.4	61.5	54.2	58.0	46.3
全国との差	▲8.8	▲10.0	▲6.5	▲2.7	▲1.6	▲5.7	▲14.9	▲17.4	▲7.1	▲6.0	▲8.2	▲1.3	▲16.3	▲15.1	▲18.8

新3学年三次市学力到達度検査 正答率 (%)



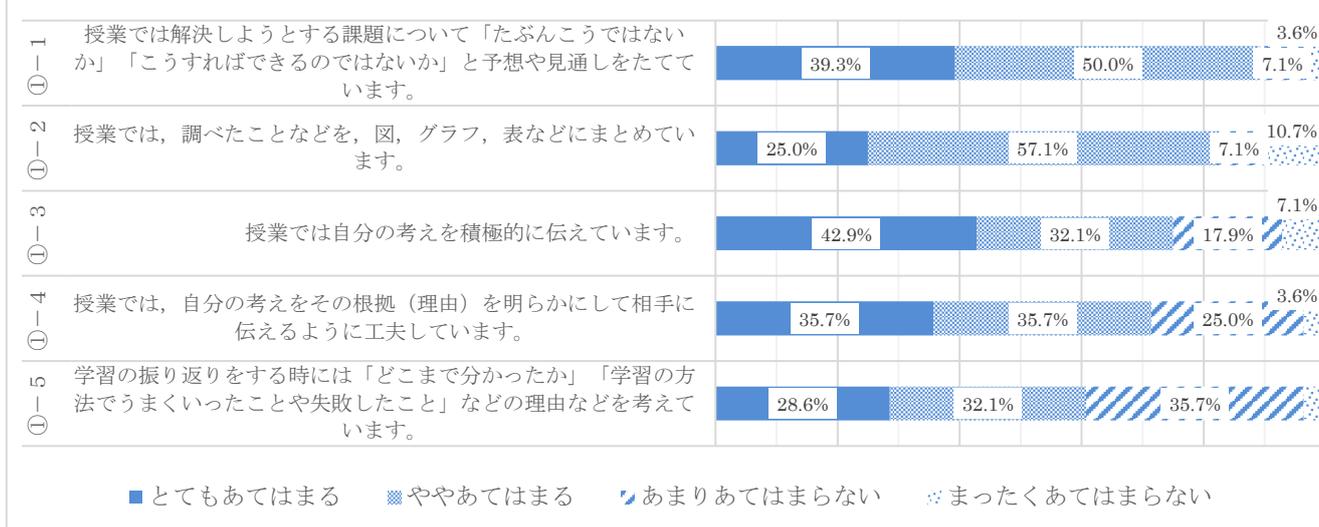
	国語	国語基礎	国語活用	社会	社会基礎	社会活用	数学	数学基礎	数学活用	理科	理科基礎	理科活用	英語	英語基礎	英語活用
作木中	62.0	68.1	50.0	39.2	38.6	40.6	34.4	41.7	12.5	58.1	58.8	57.5	43.5	50.0	31.8
三次市	71.3	75.8	62.3	48.1	49.2	45.0	48.1	53.7	31.3	58.3	61.5	51.9	47.0	52.0	37.7
全国	67.8	73.4	56.7	45.2	46.8	40.9	50.1	55.4	34.1	57.0	61.9	47.1	49.5	54.9	39.8
全国との差	▲5.8	▲5.3	▲6.7	▲6.0	▲8.2	▲0.3	▲15.7	▲13.7	▲21.6	▲1.1	▲3.1	10.4	▲6.0	▲4.9	▲8.0

新2学年は、全ての教科で全国平均を下回っている。特に、数学、英語が課題である。社会を除き、どの教科についても基礎的な知識の定着が弱い。数学では、負の数の大小関係の理解が弱い。また、社会の資料をもとに判断する問いや、国語の文学的な文章の読み取りも課題が大きい。

新3学年は、活用問題について、理科は全国平均を上回っているが、他の教科は下回っている。思考・判断・表現の力に課題がある。国語では、論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる問いや、英語では、必要な情報や要点を聞き取る問いの正答率が低い。

次は、12月に実施した生徒アンケート調査の結果である。

令和5年度 生徒アンケート調査結果 (12月)



「課題について、予想や見通しを立てている (①-1)」に肯定的に答えた生徒は89.3%であり、学習に対して興味、関心、意欲を持ち、見通しを持って取り組んでいることが分かる。しかし、学習の振り返りをする時、「どこまで分かったか」「学習の方法でうまくいったことや失敗したこと」などの理由などを考えていると答えた生徒の割合は60.7%にとどまっている。これは昨年度より5.3ポイント減少している。

このような学力調査、アンケート調査の結果から、基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、しっかり考え判断し、表現できる生徒の育成が必要である。

### 3 研究仮説

各教科等の授業において、対話によって学びを深める授業づくりを工夫すれば、思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。

### 4 具体的な取組

#### ○作木中学校区授業モデルの実践

個人思考→集団思考→個人思考

#### ○「本質的な問い」に基づく単元づくり・授業づくり

ア 単元を貫く問いの設定～単元構想シート作成

イ 思考を深める発問の工夫～理由、根拠を考えさせる発問

ウ 対話を意識した授業展開～対象との対話、他者との対話、自己との対話

### 5 検証の方法

- ・行動観察
- ・各種学力・アンケート調査
- ・学習記録・ノート
- ・作品・作文
- ・生徒アンケート

### 6 到達目標 (作木中学校学校評価自己評価項目)

- ア 生徒アンケートの肯定的評価の割合80%以上。
- ①課題について予想や見通しを立てている。
  - ②調べたことを図、グラフ、表などにまとめている。
  - ③自分の考えを積極的に伝えている。
  - ④根拠を明らかにして相手に伝えている。
  - ⑤授業では、友だちと話し合う等して、自分の考えを深めたり、広げたりしている。
  - ⑥振り返りは「どこまで分かったか」「もっと考えてみたいこと」などを考えている。
- イ 三次市学力到達度検査 (1・2年) については全国平均以上の生徒の割合、実力テスト (3年) については県平均以上の生徒の割合50%以上。
- ウ 生徒アンケートの肯定的評価の割合60%以上。
- ①学校の授業の予習をするようにしている。
  - ②学校の授業の復習をするようにしている。
  - ③定期試験等、自分で勉強の計画を立てている。
  - ④「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている。
  - ⑤将来、仕事や生活の中で役に立つと思うから勉強している。
  - ⑥分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している。

7 研究推進計画

4月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>研究計画の立案と共通認識</b> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     めざす授業像の明確化、共有化をはかる。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     各教科日常的に効果的な指導法を工夫し実践する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     授業交流及び授業研究を推進する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     課題をふまえて各教科指導法を工夫改善し実践する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <b>小中一貫教育合同研究会(10月3日) 小学校授業研究</b> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     課題をふまえて各教科指導法を工夫改善し実践する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     今年度の研究の成果と課題の明確化をはかる。 組織的な取り組みとして継続する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <b>来年度研究計画の立案</b> </div>	日 々 の 授 業 改 善 ・ 研 究 授 業 ・ 授 業 交 流 の 実 施	4月3日(水) 校内研修 (今年度の研究方針についての共有化)	
5月			5月9日(木) 校内研修 (理論研修・指導案様式)	
6月			6月13日(木) 授業研究 ( 英語 )	指導主事招聘 (北部)
7月			7月11日(木) 授業研究 ( 数学 ) 7月26日(金) 校内研修 (全国学力学習状況調査, 広島県公立高校入試問題の分析等)	指導主事招聘 (市) 生徒アンケートの実施
8月			8月20日(火) 校内研修 (授業づくり)	
9月			9月5日(木) 授業研究 ( 音楽 ) 9月19日(木) 授業研究 ( 保健体育 )	指導主事招聘 (市) 指導主事招聘 (北部)
10月				
11月			11月14日(木) 授業研究 ( 国語 ) 11月28日(木) 授業研究 ( 理科 )	指導主事招聘 (北部) 指導主事招聘 (北部)
12月			12月12日(木) 授業研究 (特別支援学級) 12月26日(木) 校内研修 (研究実践のまとめ)	庄原特別支援学校巡回指導 生徒アンケートの実施
1月			1月16日(木) 小中合同授業研究 ( 社会 )	指導主事招聘 (市)
2月				
3月			3月27日(木) 校内研修 (研究・実践のまとめ) (来年度の研究計画の方針)	

※月日, 授業研究の教科とも未定。